

2025 年度事業計画の点検・評価結果の概要

- ・ 事業計画及び個別計画を、中期計画に掲げられた項目の達成を目標として体系化して作成し、「教育研究等の自己点検及び自己評価実施要領」に沿って、各学科及び事務部門（以下、「各部門」という。）で点検・評価を実施した。
- ・ 各部門では、点検・評価の結果を踏まえて、別記の「改善・見直しの指針」により事業計画の項目及び個別計画の改善・見直しを行い、2026 年度の計画（案）を策定した。
- ・ このうち、事業計画の点検・評価結果の概要は次のとおりである。

〈点検評価結果〉

今後の対応	項目数	主なもの
継 続	79	
改 善	2	80 工夫した報道発表資料の積極的な情報発信（大学広報室） 87 教員に対する計画的な研修の実施（幼稚園）
見直し	3	34 社会人の受入れ（入試部） 35 県外の募集体制の強化（入試部） 36 多様な媒体による効果的な情報発信（入試部）
再編	2	12 「経営」「政策」の 2 コース制導入に向けたカリキュラム改編の検討（地域マネジメント学科） 23 3 年コースのゆとりの時間を活用したスキルアップ、認定病児スペシャリスト資格取得（こども育成学科）
計	86	

【別記】改善・見直しの指針

①中期計画の項目

- 評価 ≥ 2.5 の場合：紐づいた事業計画の項目を原則として継続
- $1.5 \leq$ 評価 < 2.5 の場合：紐づいた事業計画の項目の改善を検討
- 評価 < 1.5 の場合：紐づいた事業計画の項目の見直しを検討

②事業計画の項目

- 評価 ≥ 2.5 の場合：紐づいた個別計画を原則として継続
- $1.5 \leq$ 評価 < 2.5 の場合：紐づいた個別計画の改善を検討
- 評価 < 1.5 の場合：事業計画の項目自体又は紐づいた個別計画の見直しを検討

③個別計画の項目

- 評価 ≥ 2.5 の場合：個別計画の具体的施策を原則として継続
- $1.5 \leq$ 評価 < 2.5 の場合：個別計画の具体的施策の改善を検討
- 評価 < 1.5 の場合：個別計画自体又は具体的施策の見直しを検討

2025年度事業計画 点検・評価結果一覧

※対応欄は、紐付いた個別計画または事業計画自体での対応。空欄は「継続」

項目	No.	内 容	担当部署	評価	対応
前文	1	建学以来引き継いできた基本理念「愛と奉仕」の精神を基軸に、教育、研究等を一層推進	山陽スピリット推進室	4.0	
2 教育 の 充 実	2	豊かな人間力を養う	I R 推進室企画部	3.0	
	3	グローバル化の進展、SDGs達成に向けた取り組みの拡大等に対応、実社会で即戦力となる人材の育成	I R 推進室企画部	3.0	
	4	在学中の学修、就職、就職後のフォローアップまで、きめ細かな学生支援の徹底	I R 推進室企画部	2.7	
	5	対面授業の充実、ハイブリッド教育の推進	I R 推進室企画部	3.0	
	6	6 カリキュラムや授業内容の検証、見直し等	教務部	2.7	
	7	BYODを活用した授業の拡大と質の向上	I R 推進室企画部	3.0	
	8	海外留学等の奨励を通じて言語運用力の向上、異文化に対する理解	言語文化学科	3.0	
	9	「英語コース」の学びのアップデート、新設した「登録日本語教員養成課程」の魅力向上	言語文化学科	3.0	
	10	企業や地域で活躍できる人材の養成、観光専修課程の履修の奨励	言語文化学科	3.0	
	11	企業等で即戦力となり得る人材の養成、ビジネスコンテストなどへの参加の奨励	ビジネス心理学科	3.5	
	12	「経営」「政策」の2コース制導入に向けたカリキュラム改編の検討	地域マネジメント学部	4.0	再編
	13	観光専修課程の円滑な遂行と観光関連資格の取得サポート	地域マネジメント学部	4.0	
	14	eテキストも活用しながら看護師・保健師の国家試験合格率100%の達成	看護学部	4.0	
	15	質の高い学生指導、充実した看護実習の実施	看護学部	4.0	
	17	院生の積極的な学会参加、学会発表とCNSの養成	大学院看護学研究科	3.5	
	18	栄養士実力認定試験や給食校外実習の評価向上	健康栄養学科	3.0	
	19	栄養教諭を目指す学生への栄養教育実習や教員採用試験の指導	健康栄養学科	4.0	
	20	調理師、製菓衛生師を目指す学生への国家試験対策の実施	健康栄養学科	4.0	
	21	「フードビジネスコース」導入に向けた準備	健康栄養学科	4.0	
3 研 究 充 実 活 動 の	22	就職に役立つ実践的な授業の実施、「認定絵本土」等の資格取得促進	こども育成学科	4.0	
	23	3年コースのゆとりの時間を活用したスキルアップ、認定病児保育スペシャリスト資格取得	こども育成学科	3.0	再編
	24	外部資金の獲得	研究教育開発機構	3.0	
	25	論文発表、審議会等への参画	研究教育開発機構	3.0	
	26	学内紀要「山陽論叢」の充実	研究教育開発機構		
4 入 試 部	27	教育実践・教育内容の研究成果として取りまとめ	研究教育開発機構		
	28	研究倫理教育の受講、信頼性と公正性を確保した研究活動の実施	研究倫理審査委員会	4.0	
	29	各学科の強み、進化する学びの取組の周知	入試部	2.6	
	30	健康栄養学科のフードビジネスコースの魅力発信	入試部	2.5	
	31	独自の奨学制度のアピール	入試部	2.5	
	32	高校新卒者の受入れ	入試部	3.0	
	33	外国人留学生の受入れ	入試部	2.7	
	34	社会人の受入れ	入試部	1.7	見直し
5 学 生 支 援 の 強 化	35	県外の募集体制の強化	入試部	2.5	見直し
	36	多様な媒体による効果的な情報発信	入試部・大学広報室	2.6	見直し
	37	学修支援センターを中核とした学修支援体制の強化	学修支援センター	3.5	
	38	入学前教育等の充実による専門教育への円滑な移行	教務部	3.5	
	39	学習意欲、プレゼンテーション能力の向上	教務部	3.0	
	40	対話型、問題発見・解決型教育の推進	教務部	4.0	
	41	基礎学力不足の学生を支援するための各科の学修支援計画のサポート	教務部	3.0	
	42	ディプロマ・ポリシーに関する学習到達度の確認等	教務部	4.0	
	43	学生の活動を支援	学生部	3.7	
	44	はなみずき祭（大学祭）の盛り上げ	学生部	4.0	
	45	学生の悩みごと相談への対応	学生部	3.0	
	46	留学生からの相談に対する対応、学修意欲の向上	共生・グローバル推進C	3.3	
	47	「障がい学生支援のガイドライン」に沿った合理的配慮の実施	学修支援センター	4.0	

	48	学生が相談しやすい環境整備、学生の実態に合わせた適切な就職支援	キャリアセンター	3.0	
	49	課外の就職対策講座の充実	キャリアセンター	3.0	
	50	優良企業等の新規開拓、卒業生のフォローアップ、企業との関係強化	キャリアセンター	3.0	
	51	インターンシップや就職イベント等への参加促進、各種検定・資格取得などのキャリアアップ支援	キャリアセンター	3.0	
6 地 域 連 携 の 推 進	52	地域連携事業の推進	地域連携推進センター	4.0	
	53	ボランティア登録制度の普及、情報の周知	学生部	2.8	
	54	部活、サークル単位でのボランティア活動の奨励	学生部	2.8	
	55	「リカレント教育水推進計画」の策定、計画に基づく取り組みの推進	I R推進室企画部	2.5	
	56	科目等履修生募集の積極的PR	教務部	3.0	
	57	公開講座等の実施	地域連携推進センター	3.0	
7 連 携 高 大	58	高大連携事業の促進	高大接続P	3.0	
	59	出張授業、探究学習の支援、重点校への積極的なアプローチ	高大接続P	3.0	
	60	アカデミック・インターンシップの充実	高大接続P	3.0	
8 整 備 設 施	61	映像・音響設備等の機器更新、トイレ改修等の環境整備	事務部	3.2	
	62	WiFi環境の安定化、設備の維持管理	事務部	3.0	
	63	旧耐震基準の建物についての改修計画の策定、耐震診断未実施建物の診断の着手	事務部	3.0	
9 大 学 運 営 の 強 化	64	学内の会議体の円滑な運営	事務部	4.0	
	65	地震等不測の事態への対応、感染症への迅速かつ的確な対応	事務部	4.0	
	66	ハラスメント等の防止	事務部	4.0	
	67	H P等を通じて積極的な情報公開	事務部	4.0	
	68	情報セキュリティ対策の強化	事務部	3.0	
	69	第4期認証評価の基準に沿った自己点検評価の実施	I R推進室企画部	2.0	
	70	大学運営について点検・評価し継続的に改善するためのPDCAサイクルの的確な運用	I R推進室企画部	3.0	
	71	教学マネジメントの的確な運用	I R推進室企画部	3.0	
	72	学修成果等を検証するためのアセスメント・プランの改善	教務部	3.0	
	73	「2025年度山陽学園大学・短期大学経営改革計画」に基づく取り組みの実施	I R推進室企画部	4.0	
	74	学内の様々なデータの収集・分析	I R推進室企画部	2.7	
	75	職員を対象とした目標管理による業務評価制度の実施	事務部	4.0	
	76	F D・S D研修の実施、学内外の研修による人材育成	I R推進室企画部・事務部	3.0	
	77	「Sanyo Heartful Act」の実践	事務部	3.0	
	78	知名度と認知度向上に向けた情報発信の積極的な展開	大学広報室	4.0	
附 属 幼 稚 園	79	"Student First"を前面に出したイメージアップ	大学広報室	3.5	
	80	工夫した報道発表資料の積極的な提供	大学広報室	2.0	改善
	81	公式・公認ソーシャルメディアを活用した効果的な情報発信	大学広報室	4.0	
	82	豊かな感性や好奇心、表現力、コミュニケーション力等を育む	附属幼稚園	3.0	
	83	大学や短大等との連携により山陽学園ならではの教育の推進	附属幼稚園	3.0	
	84	SDGsの理解者や実践者となるための原体験となる保育活動	附属幼稚園	3.0	
	85	保護者、地域等との連携	附属幼稚園	3.0	
	86	2歳児体験入園や預かり保育の充実により園児数の確保	附属幼稚園	2.5	
	87	教員に対する計画的な研修の実施	附属幼稚園	2.0	改善